

婚外恋愛

TOMO～

婚外恋愛

彼と知り合ったのは 出会い系サイト

私は 当時 お仕事のにとらえ 当たりさわもなく 返答してました

彼は 飲み友達がほしいとの理由から 登録

お互い エッチのみの関係を求めているではありませんでした

3月に知り合い 電話やメールで お互いのことを知っていきました

ただ いつも電話はくれるけど 飲みながら・・・ 私はそれがいやだったので

飲んだ勢いみたいな感じもあり・・・

4月に 初デート

月に一回程度 このような時間が持てたら・・・ くらいの軽い感じでした

いかの生き造り食べて・・・

手すらつないでくれない

別れ際 次の約束もない

だめもとで 私には興味がなかったのですか？ のメールを送ってみました

彼：大事にしたかったから・・・

私：言ってくれなきゃわからないよ

彼：ごめん 女性にそのような言葉を言わせて・・・

カッコいいと思いました

お付き合いしたい 私がそう思った瞬間でした

次の日 午後から有給を取るから 逢ってくれ と連絡がありました

もちろん OKです

ごめんね と 謝ってすぐ シャワーも浴びてない私のをなめてくれました

キレイ好きの彼です

絶対無理だろうと思ったことを 笑顔でしてくれてます

え～ と私が言うと

舐めさせて と 上から目線でないので

丁寧に 優しく じっくり舐めてくれてます

おいしい～ と言いながら

私が はまってしまったのは いうまでもありません

初めて お泊りも経験しました
単身赴任の彼でしたから
彼の部屋に行くと ず〜と舐めてくれます
お互い 動画も撮りました
裸の写真も 撮りあいました
近くのコンビニに行くときも 手をつないでいきます
テレビ見るときも キスします
常に いちゃいちゃです
彼が こちらにいるときは 毎週 お泊りしてました
自宅には 飲みに行く と言って

ただ・・・

彼は 奥さんも愛してる方でした
単身でなかったら 浮気はしてないよ といいます
実際 自宅戻ったら 奥さんとエッチします
お互い 舐めあうとも言います
ある意味 理想の夫婦です

散策しながら

私：この間 エッチした？

彼：したよ

私：舐めた？

彼：舐めたよ 当たり前じゃん

私：舐めてもらった

彼：うん

このような会話も 普通にしてみました

5月29日 俺 本社に戻るようになった

予想はしてましたが 受け止めたくなかった
栄転なのに おめでとう も言えない
でてくるのは 涙だけ

週末 いつものように 彼の部屋に行きました
顔を見ただけで 涙

彼は 舐めてくれた
でも 涙
はなれたくない それだけです
ごめんね という彼

おめでとうと言わなきゃいけないのに 涙しか出ない
優しく舐めてくれると 辛かった

その日 飲みに出かけた
私は 泣いた
目の前には 目を真っ赤にした彼がいる
彼に泣いてほしくなかった
でも 嬉しかった

彼とは 初めてのことを 沢山した

初めてのお泊り
初めて 彼のを飲んじゃった

行きつけの屋台と バーに連れて行ってくれた
土曜日に珍しいですね
奥さんですか？
との問いかけに
大事な方ですよ と 彼は紹介してくれた

引っ越しは 2人でした
自分に 区切りをつける意味でも・・・
とうとう帰ってしまうんだ

荷物出して 最後 がらんとした部屋で 愛し合った
いつものように 丁寧に舐めてくれた
なくことしかできない 私

空港に 見送りに行った
彼：ありがとう ほんと楽しかった
私：涙
握手をして 搭乗口過ぎても 大きく手を振ってくれた

涙しか出ない私

婚外恋愛だし ここで終わるのが 普通

なのに 月～金 電話をくれた メールも
愛おしい なんて 言ってくれた

8月 有給を使って 逢いに来てくれた

それからも メール&電話は続いた

ところが 俺 ムリしてたみたい
突然言われた

彼：ほんとは 電話嫌いなんだ

私：・・・

理解できなかった

確かに 本社に戻り 出世コースを歩んでる彼
仕事がハードなのはわかってた

が・・・

しばらく 時間おきたいと言ってきた

その間 彼の誕生日があった

私：誕生日 おめでとうございます

彼：ありがとうございます

たったこれだけの メールで終わった

私は 2週間で 5キロ体重が落ちた

辛すぎた

悲しすぎた

彼に 本心を伝えてほしい と言った

彼は 家族のもとにも帰れた したい部署に戻れた 正直 ほっとしてる と言われた

もう 家族のもとに彼を返さなければ と思った

ただ 最後 話させて と言った

出てくるのは 感謝の言葉だけだった
とにかく ありがとう
散策の楽しさを教えてくれた
大事にしてくれた
どこにでも 連れて行ってくれた
私は お付き合いできて 感謝してます
いままで ありがとう

そうって 電話を切った
涙しか出なかった

次の週 彼から 電話があった
愛おしくなった
ごめん 今までのように お付き合いできないけど
友達以上 恋人未満の関係で・・・
もちろん 私は OKでした

ついでに言うと 週末 そちらで送別会がある
逢ってくれる？
もちろん うん

日付が変わって 1時過ぎに ホテルの戻ってきた彼
海辺を散策したいと言ってたよね と言って その時間から 海へ
もちろん 舐めてくれた 波の音を聞きながら・・・

先月は 私が 関東に行く用事があった
8:30に 空港に着いたら 彼が迎えに来てくれてた
リムジンバスの中で 触ってきた
音が聞こえる
恥ずかしさと 嬉しさと・・・

夕方から 行きつけのバーに連れて行ってくれた
客層が 上質
すぐに 気に入った

次の日も 逢ってくれた

銀座に行った

楽しい時間は 早く過ぎてしまう

私は まだ 滞在するけど 彼はムリ

遠距離の婚外恋愛は 初めてですが

凄く 大事にしてもらってます

婚外恋愛

<http://p.booklog.jp/book/92970>

著者：TOMO～

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tomo1709oh0118/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/92970>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/92970>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ